

質問及び意見等と回答要旨

別紙1

区分	質問及び意見	回答
令和7年度 概況書	臨地実習先の確保困難等の状況があれば教えて欲しい。(他の学校では受け入れを断られ困っていると聞こえてくる)	どの実習においても、特に母性・小児は、受け持ち患者の確保及び、看護過程の展開に苦慮する状況は以前に増して見受けられる。令和6年度は、実習の受け入れを断られることはなかったが、今後さらに状況が悪化することも想定してはいる。実習先の病院・施設ともに本校を地域の学校として大切にしてくださっていることが伝わってくる。皆様の御理解御協力のもと実習ができる。
	今年度、男子学生が6名と多かった。良い傾向だと思うが男子学生が多いことで何か違いはあるか。	良い意味での刺激がある。クラスのクッション材的役目も果たしている。男子目線の気づきから視野が拡がることもある。今後も男子増えていく可能性あるのではないかと考えている。
	県立病院に就職する学生数が減少している。理由は何だと考えるか。	人気のある就職先であるが、競争率が高いがゆえに敬遠してしまう。また、一括採用により希望病院に配属されない場合があることも懸念材料と捉えているのではないか。
令和6年度 自己評価	学校・寮の施設老朽化に対して長期的なメンテナンス計画等はあるか。	明確な計画はないが、限られた予算の中で予防的な視点も含め、優先的に対処しなければならない部分から対応している。あわせて寮については、存続を含め議論がされ始めている。
	国はすでに次のカリキュラム改正を視野に入れ動き始めている。カリキュラム改正から3年経過したが現カリキュラム改正での効果や工夫点など教えて欲しい。	新たな科目の臨床薬理学の講師を信州医療センターの薬剤部長に依頼しており、内容も刷新して効果的な授業となっている。他、看護倫理・国際看護・災害看護などの新科目も評価していきたい。 実習においては手術室見学を取り入れるなど、より良い学習体験が得られることを目指している。
	ポートフォリオを取り入れている点がとても良いと思う。是非、卒業後も継続して欲しい。	そのように伝えていきたいと考える。
	国家試験不合格の学生に対する支援体制はどのようにしているか。	発表直後からサポートを始めた。現在は再受験に前向きな姿勢で、現4年生の模試に合流している。結果も手ごたえがあり、在校生の良い刺激にもなっている。
	他校では社会入学生の評価が低い傾向にあると聞こえてくるがどうか。	社会入学生の資質・基礎力については、当校でも二極化の傾向にある。
	保護者会役員は1学年の保護者のみで構成されているのはなぜか。 繰越金80万の使い道など上の学年の保護者の方がよく分かるのでは。	会費の一部は、使用目的が例年決まっているものがある。それ以外の活用については会の皆さんにお考えいただくことが可能である。役員の来校は年2回程度であるが、

		<p>都合により出席困難な状況が続いた。入学式には多くの方が出席すること、会の説明と役員紹介をセッティングすることなどのニーズがあり、現在のかたちになった。</p>
	<p>学生達の Wi-Fi 環境について老朽化イコール導入が難しいという説明では少し疑問があった。公立学校であれば設置に対して補助金制度があると聞いた。ランニングコストに関しては学生から施設使用料として徴収するなど方法はある。費用対効果を考えながら前向きに検討して欲しい。保護者もそのような具体的な説明してもらえれば理解しやすい。</p> <p>今は小中高でもタブレット学習が進んでいる。看護現場も電子化が進んでいる。先生方の労力や、学生の学習効率(見直しをしやすいなど)・家庭での印刷代・インク代節約などを考えてもペーパーレス化はメリットが大きいのではないか。</p>	<p>設置費用などの検討はしたが、建物の構造上(壁が厚い)の問題等があり叶わなかつた。また、それ以外の冷暖房や給水設備、樹木の倒木対策など、命にかかわることを優先的に対応しなければならない事をご理解いただきたい。</p> <p>デジタルツールの活用は様々な場面で検討はしているが、予算の面などに制約があり、なかなか思うように進まないのが現状である。今の学習スタイルの中で、評価・改善しながらより効果的な教育を目指したい。</p>